

米国 予想通り緩やかなインフレ上昇（17年10月消費者物価）

：2017年11月16日（木）

～より実態に近い連鎖CPIコアは前年比で4ヶ月連続上昇～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治

03-5221-5001

消費者物価 (Consumer Price Index)

消費者物価

| | 総合 | | コア | | エネルギー | 消費者物価 | | | | | 商品コア | サービスコア |
|-------|--------|--------|--------|---------|-------|-------|------|------|------|------|------|--------|
| | 値 | 変化率 | 値 | 変化率 | 値 | 食料品 | 住宅 | アパレル | 運輸 | 医療 | 値 | 値 |
| 16/10 | +0.285 | (+1.6) | +0.147 | (+2.14) | +2.5 | ▲0.0 | +0.3 | +0.2 | +1.0 | +0.1 | +0.0 | +0.2 |
| 16/11 | +0.209 | (+1.7) | +0.182 | (+2.11) | +1.0 | ▲0.0 | +0.2 | ▲0.3 | +0.6 | +0.1 | ▲0.2 | +0.3 |
| 16/12 | +0.257 | (+2.1) | +0.220 | (+2.20) | +1.2 | ▲0.0 | +0.3 | ▲0.4 | +0.8 | +0.2 | +0.0 | +0.3 |
| 17/01 | +0.551 | (+2.5) | +0.308 | (+2.27) | +4.0 | +0.1 | +0.3 | +1.4 | +2.2 | +0.2 | +0.4 | +0.3 |
| 17/02 | +0.122 | (+2.7) | +0.206 | (+2.22) | ▲1.0 | +0.2 | +0.3 | +0.6 | ▲0.5 | +0.1 | ▲0.0 | +0.3 |
| 17/03 | ▲0.288 | (+2.4) | ▲0.122 | (+2.00) | ▲3.2 | +0.3 | +0.1 | ▲0.7 | ▲1.4 | +0.1 | ▲0.3 | ▲0.1 |
| 17/04 | +0.167 | (+2.2) | +0.071 | (+1.88) | +1.1 | +0.2 | +0.3 | ▲0.3 | +0.1 | ▲0.2 | ▲0.2 | +0.1 |
| 17/05 | ▲0.128 | (+1.9) | +0.063 | (+1.73) | ▲2.7 | +0.2 | +0.2 | ▲0.8 | ▲1.4 | ▲0.0 | ▲0.3 | +0.2 |
| 17/06 | ▲0.023 | (+1.6) | +0.119 | (+1.70) | ▲1.6 | ▲0.0 | +0.1 | ▲0.1 | ▲0.7 | +0.4 | ▲0.1 | +0.2 |
| 17/07 | +0.106 | (+1.7) | +0.114 | (+1.69) | ▲0.1 | +0.2 | +0.1 | +0.3 | ▲0.1 | +0.4 | ▲0.1 | +0.2 |
| 17/08 | +0.402 | (+1.9) | +0.248 | (+1.68) | +2.8 | +0.1 | +0.4 | +0.1 | +1.4 | +0.1 | ▲0.1 | +0.4 |
| 17/09 | +0.548 | (+2.2) | +0.127 | (+1.69) | +6.1 | +0.1 | +0.2 | ▲0.1 | +2.8 | ▲0.1 | ▲0.2 | +0.2 |
| 17/10 | +0.108 | (+2.0) | +0.225 | (+1.77) | ▲1.0 | +0.0 | +0.3 | ▲0.1 | ▲0.5 | +0.3 | +0.1 | +0.3 |

(注) 括弧内は前年同月比

10月の総合が前月比+0.108%と減速した一方、コア指数（コアインフレ）は前月比+0.225%と加速

17年10月の消費者物価（総合）は、前月比+0.108%（前月同+0.548%）と市場予想の前月比+0.1%を小幅上回った。エネルギー・食品を除く消費者物価（コアインフレ、コア指数）が前月比+0.225%（前月同+0.127%）と前月から加速し緩やかな上昇傾向を維持した（市場予想同+0.2%）。一方、エネルギーが電気・ガスの上昇にもかかわらずガソリンの下落や燃料油の鈍化により前月比▲1.0%（前月同+6.1%）と失速したほか、食料品が前月比+0.0%（前月同+0.1%）と鈍化した。

10月は財価格が上昇に転じ、サービス価格が上昇

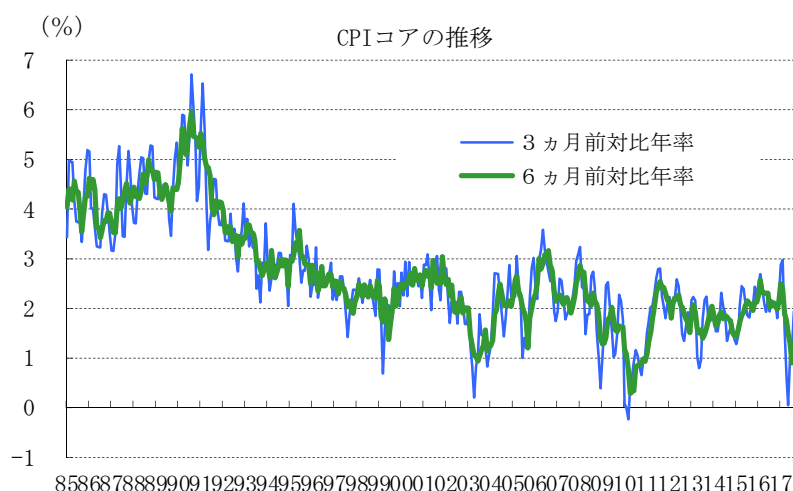
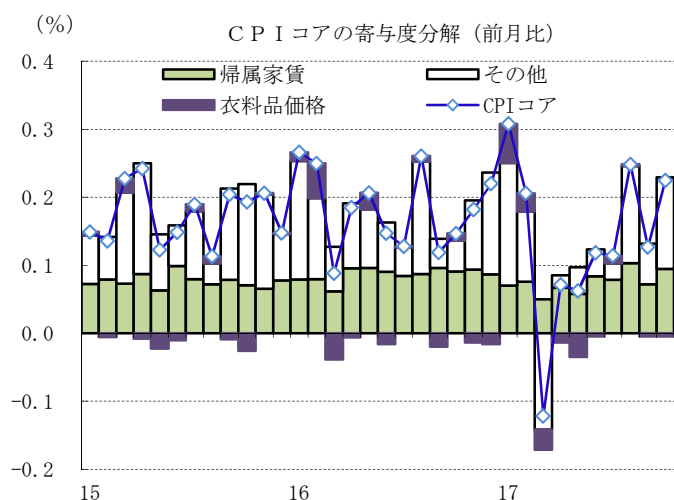
コアインフレでは、商品（財）が上昇に転じたうえ、サービスの伸び率が加速した。商品（財）価格は、アパレル、新車、処方箋医薬品、家庭用家具・備品、テレビやゲームなど娯楽商品の下落が続かなか、アルコール飲料が低下した。一方で、中古車、処方箋外医薬品、教育関連書籍が上昇に転じたほか、タバコ、歯ブラシ、化粧品などその他財が上昇し、IT関連商品が下げ止まったことで、前月比+0.1%（前月同▲0.2%）と上昇した。

サービスに関しては、自動車保険が前月比+0.1%（前月同+0.5%）、レンタカーが同▲2.5%と大幅な下落を続けた。スポーツイベントや会員サービスなどを含む余暇サービスが同▲0.1%（前月同+0.2%）、インターネットサービスが同▲0.3%（前月同+0.0%）と下落した。一方、懸案の携帯電話サービスが大幅な値引き競争の一巡により前月比+0.4%（前月同+0.4%）と上昇を続けたほか、カー・リースが同+0.2%（前月同▲0.4%）と上昇に転じた。航空運賃など公共サービスが前月比+0.6%、賃貸料が同+0.3%（前月同+0.2%）、変動の大きいホテル等宿泊費が同+1.8%（同+1.7%）、帰属家賃が同+0.3%（同+0.2%）、医療保険などを含む医療サービスが同

+0.3%と加速したこと等を背景にサービスコアは前月比+0.3%（同+0.2%）と上昇した。

コアインフレのモメンタムは安定

コアインフレのモメンタムをみると、3ヵ月前対比年率で+2.4%（前月+2.0%）、6ヵ月前対比年率で+1.8%（前月+1.5%）と加速した。携帯サービスの価格引き下げなど一時的な要因で下ぶれていたが、足元で影響が弱まっており、コアインフレの上昇モメンタムは予想通り安定的な水準を回復した。



10月の前年比での動きは総合指数が+2.0%と低下も、コア指数は+1.8%と上昇

10月の消費者物価動向を前年比でみると（以下、前年同月比）、総合が+2.0%と前月の+2.2%から低下したが、市場予想+2.0%と一致した。エネルギーが+6.4%（前月+10.1%）と低下したものの、コア指数が+1.8%（前月+1.7%）と上昇し市場予想+1.7%を上回ったうえ、食料品が+1.3%（前月+1.2%）と加速した。

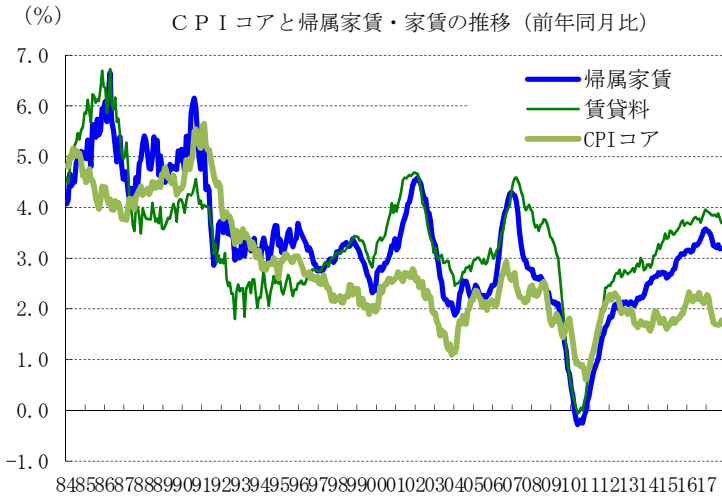
コアでは、財コアが▲1.0%（前月▲1.0%）と下落を続けた一方、サービスコアでは昨年急激に上昇した医療費の低下や携帯サービスの大幅な下落等による押し下げ圧力の強い中で、帰属家賃、賃料、自動車保険など需要の強い分野の上昇を背景に全体で+2.7%（前月+2.6%）とプラス幅を小幅拡大した。

また、より実態に近い物価動向を示す連鎖CPIコアは+1.49%（前月+1.45%）と4ヵ月連続で上昇した。

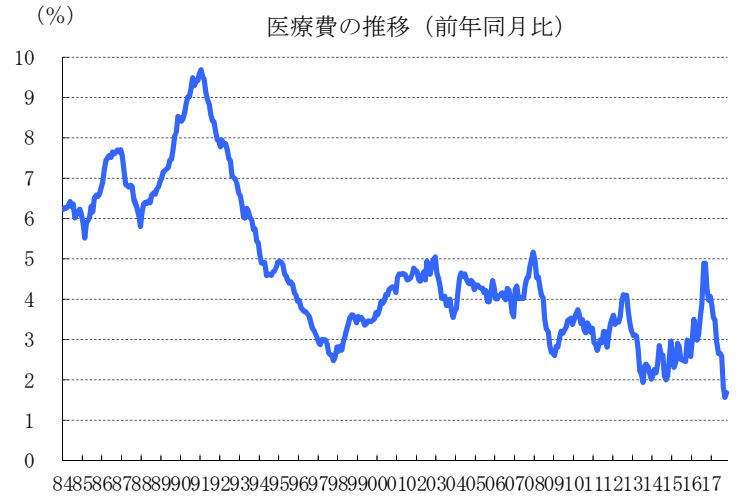
これまで公表された統計から、FRBが目標としている10月のインフレ統計を予測すると、PCEデフレーターは前年同月比+1.6%（前月同+1.6%）、PCEコアデフレーターは前年同月比+1.4%（前月同+1.328%）に上昇すると予想される。

CPIコアは今後徐々に上昇する見込み

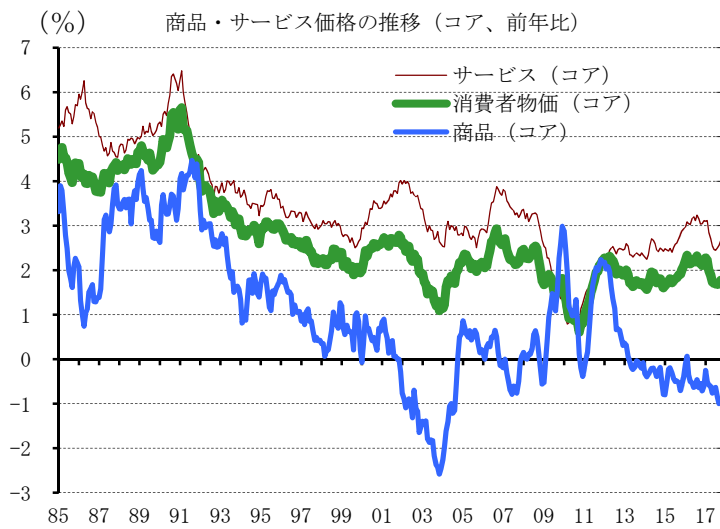
消費者物価（CPI）コアは、医療費の下押し圧力が弱まるため上昇を継続すると予想される。ただし、緩やかな景気拡大、激しい価格競争、技術革新などを背景に、中期的に前年比+2%程度での推移を続けると見込まれる。



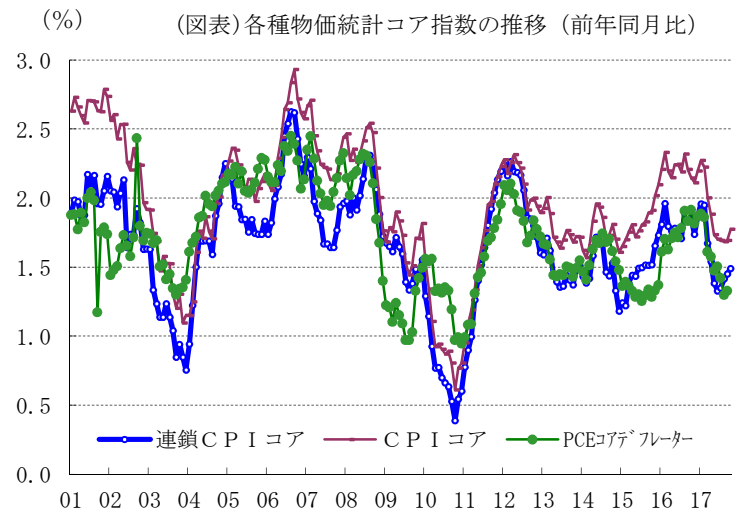
(出所) 米労働省



(出所) 米労働省



(出所) 米労働省



(出所) 米商務省、米労働省

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。